月刊 あなたにこの本を！ 平成 25 年 8 月号

大阪市立図書館 「あなたにこの本を！」選定委員会

大阪市立図書館が購入した新しい本の中から、図書館員のおすすめの本を紹介します。

…字が大きめ　…中高生にも　…図・写真が多い

※価格のあとの（ ）内の番号は、大阪市立図書館書誌 ID です。

植物はそこまで知っている
ー感覚に満ちた世界に生きる植物たちー

ダニエル・チャモヴィッツ　著
矢野真千子　訳
河出書房新社　1680 円　（0012719807）

ジャンル ： 自然環境を考える

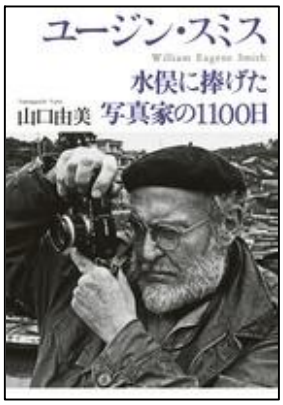
植物は世界をどう感じているのだろうか。著者は植物学の最新の研究成果から、植物に高度な感覚機能があることをヒトの感覚と比較しながらわかりやすく紹介する。とりあげた感覚は、視覚、触覚、聴覚、位置感覚、嗅覚の5つ。植物は色の違いや周囲の匂いがわかり、匂いを通じて植物同士で情報交換しているという。また、植物が過去の出来事を憶えていることがわかる例も紹介されている。植物の高い能力を知って、周囲の植物を見る目がかわるかもしれない。〔471.3〕

水族館で珍に会う

中村　元　監修・写真
エンターブレイン　1260 円（0012657403）

ジャンル ： 暮らしにうるおいを

ウニのとげを食べるゼブラガニ、ヒトデを食べるフリソデエビなど、本書には水族館で飼育されている様々な生き物の写真と解説が見開きに収められている。著者は、とりわけ不思議な姿であったり、めったに会えなかったりするものを「珍」と呼ぶ。写真を見ているだけでも楽しく、解説には、飼育している水族館や生息地などの情報もあり、飼育の裏話も紹介されている。水族館で「珍」に出会うためのコツを参考に、自分なりの「珍」を見つけたい。〔481〕



ユージン・スミス ＝ William Eugene Smith
ー水俣に捧げた写真家の 1100 日ー

山口由美　著
小学館　1680 円（0012722708）

ジャンル ： 生き方・考え方に学ぶ

本書は 1970 年代、水俣病に苦しむ患者を撮り続けた写真家ユージン・スミスの評伝だ。著者は、元妻アイリーン、助手の石川氏、患者の遺族など当時の関係者に丹念に取材し、彼の半生と人間性を浮き彫りにする。数多くある写真の代表作となる「入浴する智子と母」は、撮影されて二十数年後に、母子の遺族の意向により封印され、以降の出版物への掲載はされていない。その経緯を明らかにすることで写真の持つ社会への影響力の大きさを考えさせられる。〔740.2〕

こうのとり追って ー晩産化時代の妊娠・出産ー

毎日新聞取材班 著
毎日新聞社 1470 円 (0012687776)

ジャンル ： 現代社会を見つめる

平均初産年齢が 30 歳を越えた日本での妊娠・出産の現状を取材した新聞連載記事が一冊にまとめられた。不妊や不育症、精子・卵子提供、出生前診断の最新情報をわかりやすく解説し、子を望む夫婦や医療関係者の切実な言葉を伝える。子宮体がんの診断後、「妊活」に 10 年を費やした夫婦や、精子提供で生まれた子への告知に悩む親など事情は様々だ。また養子縁組を選択した家族も紹介する。子を望む人々を支え、寄り添うために、まずは知ることから始めたい。〔495.4〕

地元菓子

若菜晃子 著
新潮社 1680 円 (0012742600)

ジャンル ： 暮らしにうるおいを

日本全国、町の大小を問わず、その地方ならではのお菓子がある。必需品ではないにも関わらずどこにでもあるのは、人の心を豊かにし温めてくれるからだと著者は言う。土地の人々に育まれ愛されてきた数々のお菓子を、独自の切り口で語ったのが本書だ。木の葉パンなど町中いたる所に同じお菓子がある「ばっかりの町」や、全国の餅の旅、炭酸せんべい座談会等、どのページもお菓子へのいとおしさにあふれている。今すぐお菓子をめぐる旅に出かけたくなる。〔596.6〕

岩波ホールと＜映画の仲間＞

髙野悦子 著
岩波書店 2520 円 (0012687675)

ジャンル ： 生き方・考え方に学ぶ

岩波ホール総支配人の著者が、ホールを拠点に世界の埋もれた名画の発掘・上映運動「エキプ・ド・シネマ」を始めた。本書は、この運動の仲間である著名な映画監督や劇場スタッフなどと共に歩んだ著者の半生と、上映作品の記録だ。若き日に映画監督の道を断念した経験が、女性監督作品の映画祭をプロデュースするなど、女性の映画界への進出を支援することにつながったという。挫折を糧に自らの信念を貫いた姿に、映画への熱い思いが感じられる。〔778.09〕

筆順のはなし

松本仁志 著
中央公論新社 903 円 (0012623974)

ジャンル ： 知識・教養を深める

筆順には唯一の正解はなく、あくまでも基準であるという。文字・書写の教育を専門とする著者が、その基礎や意義、歴史、教え方の工夫などについて、丁寧に解説した。時代によって異なる「上」の書き方や、漢字圏の国々での比較、「左」「右」の違いの根拠、戦時中の「必」に込められた思いなど、筆順をめぐる様々な話は興味深い。中学生が書く順番を定めることの意義について討論した様子も紹介されている。今まで知らなかった筆順の世界がよくわかる。〔811.2〕

辞書を編む

飯間浩明 著
光文社 840 円 (0012720372)

ジャンル ： 知識・教養を深める

国語辞典の編さん者である著者が、その仕事について実際の改訂作業に沿って解説する。「今、広く使われていることば」を集めるため、女性誌や街中の会話にもアンテナを張って使用例を書きとめ、語釈を書くために、キャバクラへも現地視察に出かける。「右」「左」といった使いなれた言葉ほど語釈に頭を悩ませるなどのエピソードを交えて、辞書作りの苦労と楽しさを披露する。辞書に対する著者の熱意が伝わり、無機質な辞書のイメージが一新される。〔813.1〕